

令和7年12月8日

造山古墳群で発見された出土品のレプリカを 公開します！

造山古墳の陪塚である榊山(さかきやま)古墳から出土した馬形帯鉤(うまがたたいこう)と、造山古墳から出土した靱形(ゆきがた)埴輪のレプリカを制作し、岡山市造山古墳ビジターセンターで公開します。

1 公開開始日

令和7年12月9日(火)

※岡山市造山古墳ビジターセンターの閉館時は公開していません。

2 展示施設

岡山市造山古墳ビジターセンター(北区新庄下)

・開館時間:10時～15時

・休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌平日)

3 内容

馬形帯鉤とは朝鮮半島から運ばれてきたベルトのバックルにあたるもので、吉備が朝鮮半島と密接な関係があったことを示しています。靱形埴輪とは矢を入れた容器を模した埴輪で、古墳時代にだけ使用された魔除けの模様とされる直弧文(ちょっこもん)が刻まれています。

本物の馬形帯鉤は宮内庁、靱形埴輪は岡山県立博物館が所蔵しています。いずれも型取りで制作し、実物と同一縮尺であることから重厚さを感じることができます。



馬形帯鉤

左 縦:約60mm、横:約105mm・

右 直径:約50mm



靱形埴輪

縦:約170mm、横:約170mm

【問い合わせ先】

岡山市 観光振興課 水岡・草原 直通086-803-1332 内線4532、4530